



メディアコーディネーターが1日いる日 in 日野第二中学校



7月6日(木)日野第二中学校へメディアコーディネーターが1日お邪魔し、先生方の日常の授業の様子を見せていただいたり、機器に関する問い合わせ対応をさせていただきました。

○授業は、2時間目から5時間目まで、それぞれ廊下から少しずつ拝見しました。社会や理科の授業では教室や専科教室の52インチモニターに資料を大きく提示、数学では「パワーポイント」で問題を大きく提示した後、解法を少しずつ見せていたり、と、それぞれの先生方が「わかりやすい授業」のためにICT機器を活用していました。

○英語科の教室では、52インチモニターと地デジPCのセットと別に、プロジェクター、スピーカー、黒板にスクリーンが常設されていました。授業のときに、先生のノートPCをプロジェクターにつなぎ、スクリーンに映したり音を出したりできるようになっています。(このスクリーンはホワイトボード用のペンで書き込んだり消したりが自由にできるため、とても使いやすいとのことです。)

こうしてあることで、デジタル教科書と他のPC教材をいつも並行して使えて、授業がやりやすいそうです。教材の切り替えに無駄な時間をつかわず、生徒の注意ややる気も切らずに授業を進められて、とても効果的だということでした。



学校から、授業の様子の写真をご提供いただきました。

○授業を見せていただいた後、ICT推進委員の増田和彦先生に「スタディネット」の活用についてお話をしました。

たとえば、国語や社会など、教科書の文章や資料を読んで、生徒たちが感じたことや読みとったことなどについて意見交換や共有する授業では「スタディネット」の「エクスチェンジボード機能」や「テキストマーキング機能」をご提案しました。

「エクスチェンジボード機能」とは、各自が書いた考えなどを一覧表示で比較共有できる機能です。「テキストマーキング機能」とは、各自が文章を読んで感じたことをマークし、コメントを入力。それらを全員で共有し、とらえ方・感じ方の違いに気づくための機能です。

これらを活用すると、子供たちは授業中、受け身ではいられず、積極的に授業に「参加」せざるを得なくなります。また、良い考えを持っているのに内気で手があげられない子供の意見も共有することができます。

「スタディネット」などを実際に授業で使うときには、支援に伺いますのでお気軽にお声掛けください！

中学校の日常の様子やICT活用について、推進室にいてはわからない点にたくさん気づくことができた1日でした。二中の先生方、どうもありがとうございました！



メディアコーディネーターが1日学校にお邪魔していれば、先生方のご要望などに素早く対応させていただける可能性があります。また、学校のいろいろな様子を踏まえた上で、ICT機器の活用などについて気軽にご相談も受けられます。

これから他の学校へも、ぜひこのような形で伺いたいと思っています！